



心を動かし



環境に働きかけて

遊び込む

友達いっぱい 夢いっぱい

生き物となかよし
 ぼくたちがつかまえたダンゴムシ、脚がいっぱい!! 何が好きなのかな?



雪のケーキ作り
 ボウルで型を取ると、まるいケーキに变身! 2段3段と積み重ねよう!



元気で遊ぶ 附属の子

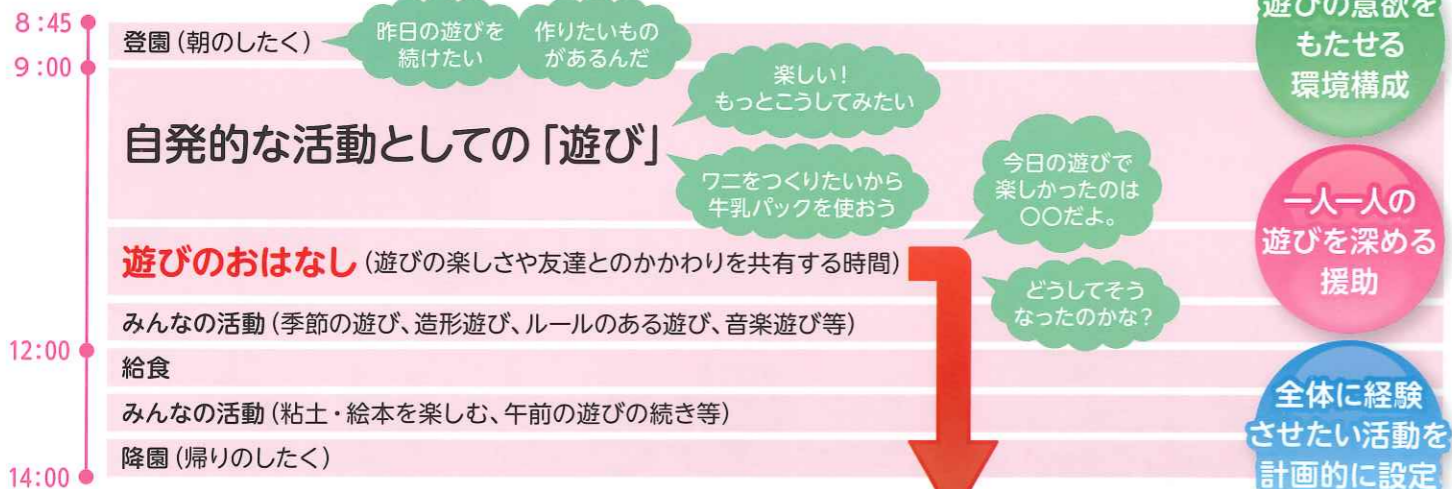
みんなで砂場まで水を流そう!
 上から下へ塩ビ管をつないで調節すると……あっ水が出てきたよ!!

秋の木の実でお料理作り
 ヤッホー広場で集めたたくさんの木の実。皮をむいて出てきた種をお料理に使う。



ヤギや小学生とおともだち
 「ヤギが好きな葉っぱだよ あげてみる?」小学生がお世話をするヤギとなかよくなる方法を教わったよ!

一日の生活の流れ



今日の自分を振り返り、明日へつなげる「遊びのおはなし」の時間



3歳児実践 水流し

なかよし広場の砂場に、水を流し、水が流れていくところや水がたまるところをじっくり見て、ここだと自分が決めたところに船を置くと、船が浮いている様子をじっくり眺めていました。目の前の変化を楽しみながら、水を流したり、砂を掘って船を進めたりしながら、自分のやりたいを形にする楽しさを感じていました。



4歳児実践 おみこし

お神輿の上についている塔をまっすぐにしたいと友達のお神輿を見比べながら、ひもを付けたり、紙テープを付けたりと試していると、Aさんのお神輿にも次第に友達が集まってきました。友達は、頑丈にするためにガムテープを巻き付け、Aさんはひもを塔の先端に貼り、引っ張りながら土台に貼り付けていきました。塔がまっすぐにになると早速、お神輿をみんなで担いで練り歩いていました。



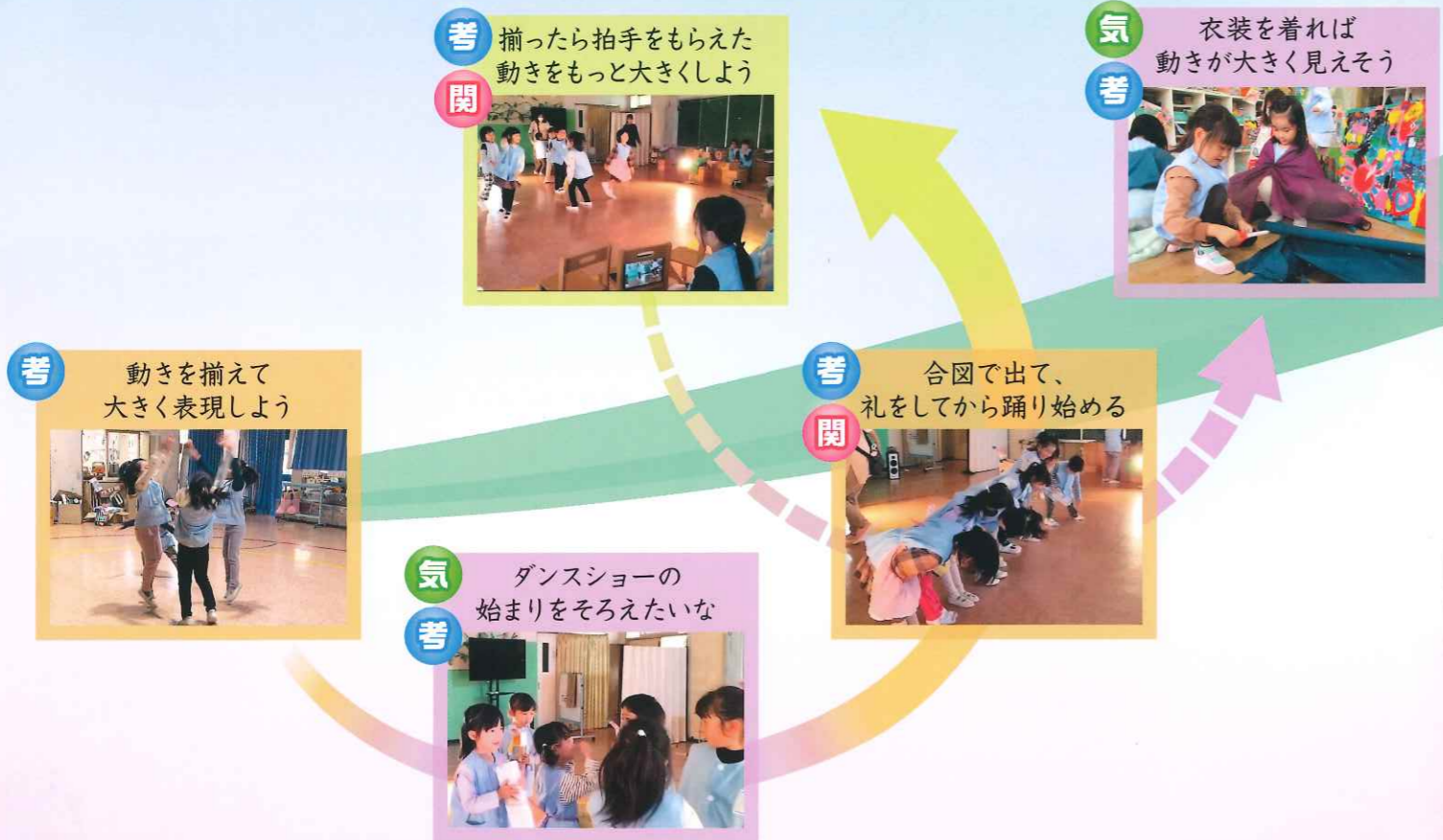
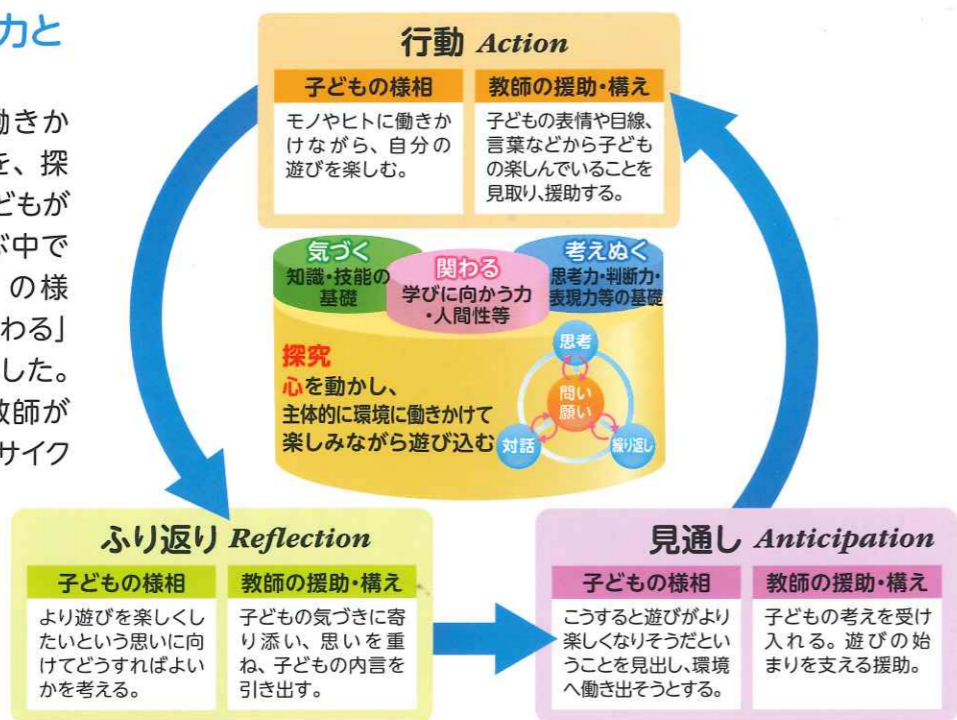
5歳児実践 コマ回し

友達とコマを回して遊んでいる中で、キャップの大きさや色を変えたり、軸の長さやバランスを調節したりしながら「究極のコマ」をつくりました。自分なりの工夫を重ね、できたコマを回していると、回し方や回す場所などへも目が向き、新たな気づきを取り入れながら遊びました。



探究で発揮される資質能力と遊びのプロセス

「心を動かし、主体的に環境に働きかけて楽しみながら遊び込む」姿を、探究している姿ととらえました。子どもがAARサイクルを何度も回して遊ぶ中で「願い・思考・繰り返し・対話」の様相の表出、「気づく・考えぬく・関わる」の資質能力の発揮が見えてきました。そうしたプロセスや力の発揮を教師がとらえ、子どもが主体的にAARサイクルを回せるように支えています。



探究を支える教師の援助

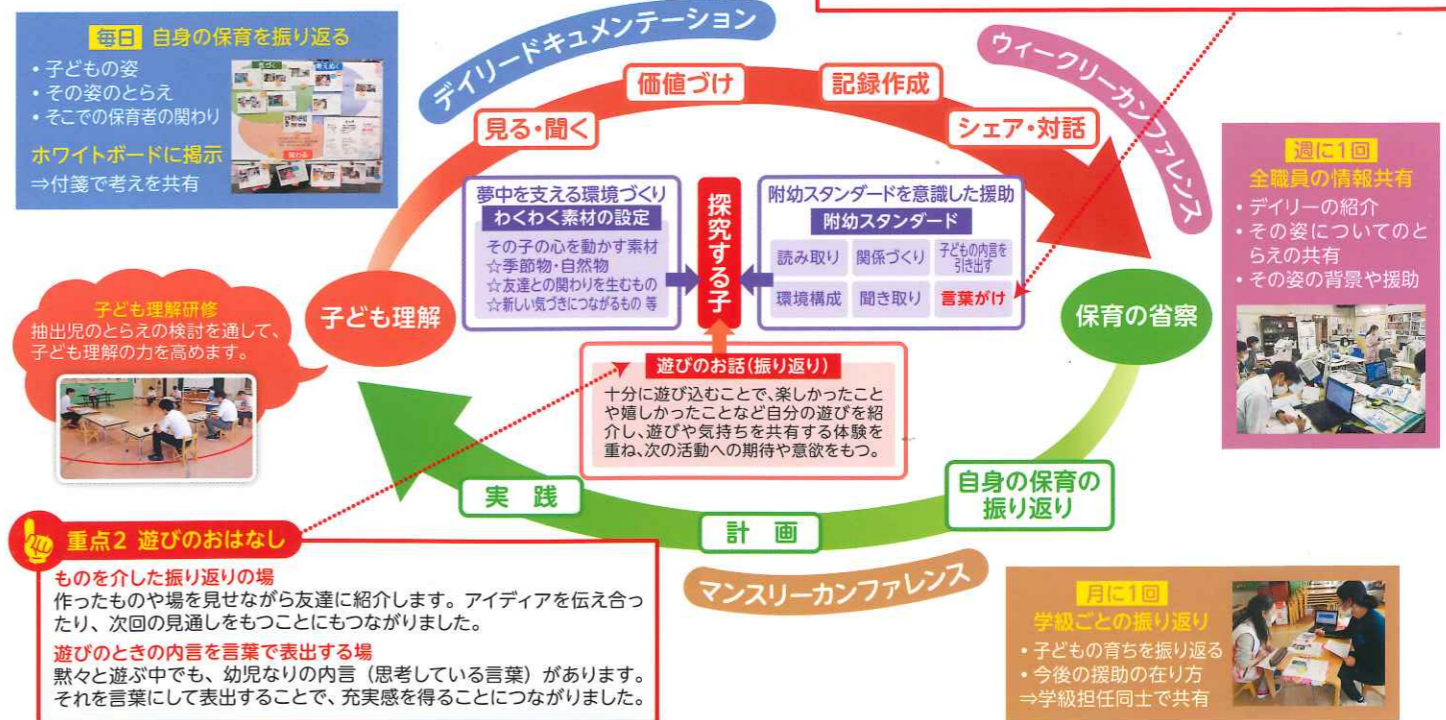
教師は、探究する子を「夢中を支える環境づくり」と「附幼スタンダードを意識した援助」、「遊びのおはなし（振り返り）」で支えています。そうした教師の援助は、子どもに応じたものでなくてはなりません。だからこそ、日々の子どもの理解と保育の省察が重要になってきます。子どもの姿から自身の保育を振り返るサイクルによって、質の高い保育を目指しています。

5歳児事例

本事例における子どもの学び（総括）

みんなで楽しむダンスショーにしたいという目的に向かって自分なりの関わり方で継続して遊んだことで、みんなで一つのものを作り上げるよさを味わった。

関…関わる 気…気づく 考…考えぬく
見通し 行動 ふり返し



重点2 遊びのおはなし

ものを介した振り返りの場
作ったものや場を見せながら友達に紹介します。アイデアを伝え合ったり、次回の見直しをもつことにもつながりました。

遊びのときの内言を言葉で表出する場
黙々と遊ぶ中でも、幼児なりの内言（思考している言葉）があります。それを言葉にして表出することで、充実感を得ることにつながりました。

行政と連携！新潟県の幼児教育の質を高める 往還型オンライン研修会「遊びのとびら」

遊びのとびらの目標

質の高い保育を目指す

教師 自発的な活動としての遊びから学ぶ
教師 子どもにとっての遊びの価値を探る

幼児のいきいきと遊ぶ姿を語り合い学び合う研修会「遊びのとびら」を立ち上げたい！

目標に向けた3つの方針

- オンラインを活用**
 - 距離・時間の制約をなくす
 - 様々な園種の保育者
 - 研究者や行政の参加
 - 垣根を越える
- 往還型研修会**
 - 子どもの姿についての語り合い
 - 子ども観・保育観を形成
 - 日々の保育の質を高める
- 当園の見直し**
 - 保育動画提供
 - 研修取組の提案
 - 参加者とともに学ぶ

往還型研修の考案

年3回の往還型研修会の実際

- 合同研修会「遊びのとびら」 自園での実践
- 第1回：動画から子どもの姿を見る → ①自園での保育実践
 - 第2回：実践を振り返り次の保育へつなげる → ②園職員を包み込んだ日々の学び合い
 - 第3回：保育を省察し、自身の姿を自覚する → ③園職員を包み込んだ日々の学び合い
- 今年度の研修成果のまとめへ

STEP1

参加者の土台をそろえる

様々な園種の保育者が参加する遊びのとびら。立場や子ども観・保育観も様々な100名以上の参加者が、「動画」「キャッチフレーズ」を共通の土台として語り合えるようにしました。

動画の子どもの姿が共通の土台に！



参加者は事前に5～6分ほどの遊びの動画を視聴し、心が動いた子どもの姿や保育の援助について記録用紙に記入します。

子どもの姿から見てきたキャッチフレーズが共通の視点に！

動画の子どもの姿を語り合い、グループが目指す保育の共通の視点としてキャッチフレーズを作ります。



「遊びのとびら」参加者の保育 キャッチフレーズを意図した保育実践

STEP2

自身の実践と省察

グループみんなで作り上げたキャッチフレーズをもとに自園での実践をスタートします。

自身の保育実践に加え、同じ視点でペアの先生と見合ったり、他の職員と語り合ったりして、同僚の先生を包み込みながら行っていきます。



STEP3

子ども観・保育観を更新

自園で実践したことを遊びのとびらで伝え、語り合う中で、子ども観・保育観を更新しながら、子どもを見る視点・保育の援助について見直しをもちます。

自園での実践を伝え、語り合う中で、子ども観・保育観を更新します。見直しを得て、自園での保育を再び始めます。

子ども観・保育観を更新 次の見直しへ



まとめ 「遊びのとびら」の3つのステップをサイクルのように回していくことで、語り合い、学び合いながら保育の質を高めることにつながったと実感しています。保育者は常に子どもの姿から学び続け、私たち附属幼稚園も遊びのとびらから発信することをとめず、保育の質を高め合う教師集団を目指していきます。

往還型オンライン研修会「遊びのとびら」の取組を紹介した動画が「NITS 独立行政法人教職員支援機構」のWebサイトで視聴できます。
URL <https://www.nits.go.jp/award/outline/006/013.html>

子どもの学びでつなぐ幼小接続

CONNECT 1

保育者の遊びを見取る視点

遊びの過程 (プロセス)



でも、これだけだと学びに迫れない

「完成したよ。できたよ」という結果だけではなく、**遊びの過程**に着目しています。

保育者のプロセスを見る視点

- 自力解決する姿
- 試行錯誤
- どのような工夫が生まれるか
- 経験のつながり、見出した気づきをどのように生かしているか など…

一人一人「学び」は異なる

遊びの過程から自らの力で試行錯誤しながら解決する**一人一人の学び**に着目して、学びに迫ります。

CONNECT 2

幼小共通の視点を設定



気づく
知識や技能の基礎

考えぬく
思考力・判断力・表現力等の基礎

関係づくり
学びに向かう力・人間性等

年長児の育ちつつある姿から、3つの資質・能力を幼小の共通の視点として設定します。

CONNECT 3

子どもの学びを伝える方法

子どもの育ち共有シート

期の特徴	その期で見られた子どものよさ	接続で重視する資質能力	遊びの写真	遊びのエピソード	10の姿	この期で見られた遊びの中での子どもの経験
期の特徴	その期で見られた子どものよさ	接続で重視する資質能力	遊びの写真	遊びのエピソード	10の姿	この期で見られた遊びの中での子どもの経験

共有シートの「遊びのエピソード」をもとに**短い動画**を作成し、共有します。



幼小接続部会
共有シートと動画を活用して接続部会で語り合います。



当校園で考案した「子どもの育ち共有シート」で、自発的な遊びの中での子どもの**学びや経験を可視化**し、小学校に伝えます。実際に子どもにどのような学びがあったのか価値づけたものを遊びのエピソードで伝えます。

社会に開かれた教育課程をめざして

～子どもの思いを地域や社会とつなげる～

県外の幼稚園との オンライン運動会

～新潟大学教育学部村山研究室
との共同研究～



こんにちは! 留学生

～留学生とのポッチャ交流会～



ヤギさんとなかよし

～ヤギを通じて小学生との交流～



魅力ある乗り物模型と経験をつなげて、リアルを形にしてい



遊戯室いっぱい
広がる線路



地域の方から毎年
寄贈いただいている乗り物の模型

形や色にこだわり出来上がった新幹線

広がる線路でわくわく遊ぶ

地域の素材が遊びを豊かに



地域の素材を使った神輿や衣装



波の揺らぎや柔らかさ、
透明感を表現した布



栃尾織物工業協同組合
からいただいた布

